

分野	科目名	配当年次	開講期	
専門分野Ⅱ	老年看護学Ⅰ	1年次	後期	
単位数	時間	担当教員	実務経験の有無	
1単位 (15時間)	16時間	菅谷清美 専任教員	有	
授業の概要	まだ自分達が経験したことのない人生の最終章を生きる老年の人々の理解を深めるために、まず、自分達が「老い」をどのように感じているのか向き合い、高齢者が避けられない「老い」と向き合い生きるとはどういうことなのか、そして、看護者として対象を理解するとはどういうことなのかを考えていきたい。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 加齢に伴う老年者の健康状態の変化について理解を深める。</li> <li>2. 人生と経験、生きてこられた時代背景を知る。</li> <li>3. 人生の最終章にどのように向き合っているのかを知る。</li> </ol>			
授業計画	No.	授業内容	授業方法	備考
	1	自分たちがもつ「老いることのイメージ」、加齢・老化とは	講義	
	2	加齢に伴う老年期の健康状態の変化、身体的、精神的、社会的変化についてグループでまとめ発表	講義・GW	
	3			
	4			
	5			
	6	高齢者が生きてきて時代背景、生きる拠り所、価値観、信念	講義	
	7			
	8	老年期を生きる人々を理解する、高齢者の喪失体験	講義	
	9			
	10			
	11			
	12			
	13			
	14			
15				
評価	筆記試験 100点			
参考文献	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 小泉和子：昭和の家事 母たちの暮らし,河出書房新社,2010.</li> <li>2) E.H.エリクソン：老年期,みすず書房,1992.</li> </ol>			